広報 人と自然が織りなす 心豊かな協働の村

たのはた

復興へのご支援に心から感謝します

2012
No. 542
5

今日から小学生♪

4月9日の小学校入学式。担任に名前を呼ばれ「ハイ」と元気な返事をする畠山弥来ちゃん。（関連記事10ページ）

ファンファーレは田野畑小スクバンが演奏

運行再開を祝いテープカット

あいさつをする平野達男復興相㊧

キット、ずっと号

お座敷列車さんりくしおかぜ

手をつな号

三陸鉄道は現在、皆さんの支援を受けながら、さまざまな車両で運行中

9時11分発久慈行き列車の出発。ホームや駅広場で万歳三唱の後、大漁旗や小旗を振って見送った

おかえりなさい　三陸鉄道

2012年4月1日

田野畑－陸中野田間　運行再開

東日本大震災で大きな被害を受けた三陸鉄道。震災から1年以上が過ぎた4月1日、本村の線路に三鉄車両の姿が戻りました。

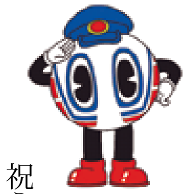
不通になっていた田野畑－陸中野田間の運行再開。この再開を祝い、カンパネルラ田野畑駅で記念式典が開催されました。

三陸鉄道の望月正彦社長は「地域の生活の足として、そして全国から多くのお客様を迎え、地域の活性化に貢献します」と力強く運行再開宣言。平野達男復興相は祝辞で「本日は三鉄の復旧という点にとどまらず、三陸沿岸全域の復興に向けての大きな一歩となる記念すべき日です」と話しました。

達増拓也岩手県知事や上机莞治村長のあいさつの後は駅のホームに移動。上机村長やカンパネルラ友の会の宮森秀幸会長などが運行再開を祝ってテープカット。田野畑小学校スクールバンドのファンファーレが鳴り響くと、会場は大きな喜びの拍手に包まれました。

三鉄は午前9時11分、大漁旗や小旗を振る皆さんに見守られ、たくさんの乗客を乗せて久慈に向かい出発しました。

不通となっている田野畑－小本間は、平成26年4月の運行再開を目指して工事が進められます。



4月1日は、三鉄の運行再開を祝うイベントが盛りだくさん。会場となった田野畑駅は一日中、多くの人たちでにぎわいました。

最初にイベントを盛り上げてくれたのが村の子どもたち。たのはた児童館と若桐保育園の園児は、歌手のアンダーパスの2人と一緒に「さんてつのうた♪」をかわいらしく歌って踊りました。

田野畑小学校の羅賀地区児童たちは大宮神楽を軽やかに舞い、羅賀婦人会「恋のリアス線」の踊りには、会場からアンコールも飛び出しました。

駅周辺では、羅賀婦人会が八杯豆腐やイカ焼きを無料で提供。田野畑産カモ肉を使ったカレー鍋を考案したシェフの熊谷喜八さんも訪れ、その配布に大忙し。B級グルメで有名な「横手焼きそば」のテントは、買い求めるお客さんが長い列をつくっていました。

イベントの最後は餅まき。会場全体で三陸鉄道の運行再開を祝いました。

島越の駅や線路の復旧はもう少し時間がかかりますが、村の線路に三陸鉄道の車両が帰ってきました。マイレール再び――。

私たち全員で、よりいっそう三陸鉄道を応援していきましょう。

❶

田野畑駅勤務
小野寺 万壽榮（ますえ）さん

心待ちにしていた再開

運行再開は地元も喜んでいるし、私も張り切って仕事をしています。本当に心待ちにしていましたから。切符を売るという場所だけじゃなく、みんなが集まれる「心のよりどころ」のような空間に田野畑駅をしていきたいと思います。１日でも早い全線の運行再開も願っています。

三鉄で水族館行きたい

「さんてつのうた♪」はいっぱいの人が見ていてちょっと恥ずかしかったけど、楽しく踊れました。運転士さんに花束を渡す係をやったけど、笑顔になってくれてとてもうれしかったです。三陸鉄道に乗って、久慈駅前の「もぐらんぴあ・まちなか水族館」に行ってみたいなぁ。

田野畑小１年
佐藤 まつりさん

❸

❷

❻

❺

田野畑ユウ　Profile

勤務地…田野畑駅
業　務…駅務、営業、三陸振興に関する業務
出身地…田野畑村
趣　味…読書
好　物…乳製品、ワイン
その他…実家は酪農家。大学卒業後、就職するも震災を機に帰郷

❹

記念切符の使用期限は
5月31日

広報たのはた４月号と一緒に配布した「田野畑－陸中野田間復旧記念１日フリー切符」の使用期限は５月31日㈭までです。この機会に、ぜひ三陸鉄道を利用してください。

❶たのはた児童館と若桐保育園の園児たちがアンダーパスの2人と一緒に「さんてつのうた♪」をダンス❷羅賀地区の田野畑小児童は大宮神楽を軽やかに舞った❸「三鉄を勝手に応援する会」から贈呈された木彫りのサッパ船長❹羅賀婦人会の踊り「恋のリアス線」にはアンコールも飛び出した❺田野畑村出身の鉄道ダンシキャラ「田野畑ユウ」も入社❻駅舎は桜の花びらで彩られ「キット、ずっとカンパネルラ田野畑駅」に。応援メッセージも書き込まれている

ようこそ

田野畑村へ

この春、村に異動してきた小学校と中学校の教職員、広域消防田野畑分署の職員を紹介します。

田野畑中学校

瀧川 菜美子 教諭　大久保 士郎 教諭　富永 秀寿 副校長

三浦 円果 講師　藤井 紘介 講師　花輪 忠紘 講師

田野畑小学校

滝川 加奈子 教諭 ※中学校と兼務　舘洞 郷志 教諭　加藤 公 教諭　木村 かおり 教諭　中村 悟史 副校長

倉本 恵 すこやかサポート　尾形 桃子 講師　中村 一恵 事務主任　堤 絹子 養護教諭　寺山 幸代 教諭

田野畑分署

佐々木 祐介 消防士　横田 忠憲 消防副士長　植村 英治 消防主任　竹田 泰寛 消防主任　中村 敏 消防主任

行政区長などを紹介します

皆さんと村を結ぶ役割などをする行政区長、民生委員、交通指導員、地域協働隊職員を紹介します。（敬称略）

■交通指導員

交通安全教室などで、交通安全意識の高揚を図ります

役　職	氏　名
隊　長	牧原　寿一
副隊長	箱石　大典
隊　員	鍬形　　静
	佐々木禮二郎
	東　　千枝

■地域協働隊職員

行政区	担当職員	チーフ職員
北　山	**平坂　　聡**	久保　　豊
机	**向井　俊一**	
池　名	佐々木貞子	
明　戸	工藤　光幸	**早野　　円**
羅　賀	大澤　　健	
	川畑　勝也	
	畠山　裕晃	
田野畑	坂本　　大	石原　　弘
板　橋	**佐藤　和子**	
西和野	前川　恵美	
和　野	畠山　　哲	
菅　窪	工藤　隆彦	
七　滝	畠山　淳一	
猿　山	佐々木賢司	佐々木　靖
大　芦	牧原美津子	
真木沢	晴山美恵子	
切　牛	佐々木　修	
浜岩泉	**角舘　　尚**	
島　越	早野　和彦	佐々木卓男
	大森　　泉	
	工藤　真樹	
尾肝要・巣合	佐々木和也	佐藤　智佳
田代・萩牛	横山　順一	
沼　袋	菊地　正次	
甲　地	金子　和也	
千　丈	**田村　法也**	

※**太字**は新しく担当になった職員

■民生委員・児童委員

自立した日常生活を送るための相談や福祉増進に携わります

行政区	氏　名
北　山	平坂　百子
机・池名	久保　トミ
明　戸	道合　勇一
羅　賀	熊谷裕美子
田野畑・板橋	畠山　和子
西和野	泉山　君子
和　野	三上　修一
菅　窪	畠山サエ子
七　滝	熊谷　キミ
猿　山	佐藤　徳雄
大　芦	牧原喜江子
真木沢	八重樫由美子
切　牛	現在、選出中
浜岩泉	熊谷喜枝子
島　越	下村　博光
尾肝要	向川原　嚴
巣　合	嘉藤　正義
田代・萩牛	熊谷　勤巳
沼　袋	金子　すみ
甲　地	藤島　貞人
千　丈	沼平　正治

■主任児童委員（民生委員・児童委員を兼ねています）

奥地キミ子（田野畑）
前原　静美（羅　賀）

■行政区長

住民と村を結ぶ役割をし、地区行政の推進を図ります

行政区	氏　名
北　山	佐々木仁志
机	上村　繁幸
池　名	山根　　伸
明　戸	菊地　英公
羅　賀	大澤東二郎
羅賀仮設	畠山　忠男
田野畑	遠藤　誠治
西和野	畠山　勝美
和　野	三上　修一
菅　窪	畠山　　守
七　滝	畠山　球語
猿　山	熊谷　康記
大　芦	佐々木忠男
真木沢	畠山　幸一
切　牛	穂高　育雄
浜岩泉	田河原誠一
島　越	下村　博光
板　橋	奥地　好美
尾肝要	佐々木利明
巣　合	嘉藤　正義
萩　牛	野崎　利良
田　代	熊谷　裕典
沼　袋	秋田　秀昭
甲　地	佐々木完司
千　丈	畠山　静雄

全国から寄せられた善意

むらづくり基金の概要をお知らせ

子どもの教育・少子化対策への寄付が多く寄せられた（資料写真・たのはた児童館初めての卒園児と保育士）

平成19年度に導入した「田野畑むらづくり基金」は、村が提示した五つの政策メニューから皆さんに使途を選択してもらい寄付をいただくもの。村への思いを具現化し、個性豊かで活力があるふるさとづくりを目的としています。第５期となる23年度は、全国各地の皆さんから７０８万５千円（82件）の寄付がありました。19～23年度の基金総額は２１１１万円余り（３７５件、運用益含む）。ここでは、その概要をお知らせします。

政策メニュー別

23年度にいただいた寄付の政策メニュー別内訳は次のとおりです。

①自然環境の保全
　12万円（２件）
②農山漁村の歴史文化の保存
　２万円（２件）
③自然エネルギーの整備
　11万円（５件）
④福祉・健康の推進
　13万円（６件）
⑤子どもの教育・少子化対策
　90万５千円（33件）
⑥指定なし
　５８０万円（34件）

寄付者の地域別

居住地別では、▼本村25万円（９件）▼本村を除く岩手県３６７万５千円（17件）▼埼玉県３６７万円（12件）▼東京都96万円（13件）▼兵庫県70万円（３件）▼新潟県50万円（１件）―などとなっています。

寄付には「ささやかな応援ですけど―」「田野畑村産品のファン。これからもおいしいものを作って―」などの温かいメッセージも添えられていました。

預金利子も含めると、23年度末の基金合計は２１１１万61円となりました。

■メニュー別寄付の状況　（単位：円）

項　目	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	合　計
①自然環境の保全	231,000	175,000	30,000	55,000	120,000	611,000
②歴史文化の保存	125,000	10,000	―	15,000	20,000	170,000
③自然エネルギー	55,000	10,000	―	30,000	110,000	205,000
④福祉・健康推進	215,000	170,000	40,000	265,000	130,000	820,000
⑤子どもの教育	310,000	280,000	270,000	215,000	905,000	1,980,000
⑥指定なし	1,733,000	862,149	3,480,000	5,416,300	5,800,000	17,291,449
寄付金計	2,669,000	1,507,149	3,820,000	5,996,300	7,085,000	21,077,449
運 用 益	―	2,823	12,307	11,950	5,532	32,612
基金合計	2,669,000	1,509,972	3,832,307	6,008,250	7,090,532	21,110,061

農振除外の申し出

年２回の期限を設けて受け付けます
最初の期限は６月末

農地に住宅を建築する場合、農振除外申し出（農用地区域から除外する手続き）と、農地転用許可（人為的に農地を農地以外のものにすること）の必要があります。手続きには約３カ月を要します（件数などにより、３カ月以上の可能性もあり）。しかも、一度申し出を受け付けると、その期間中は他の申し出を受け付けることができません。

今回、東日本大震災などの影響で住宅を新築する人が見込まれることから、申し出から許可までをスムーズに行うため、年２回の期限を設けて受け付けを行います。

◆要件（①～⑥全てを満たす必要があります）

①住宅設計図面や資金計画があり住宅建築が確実
②緊急性があり、農用地区域以外に代わる土地がない
③周辺農地の利用や農作業の効率化に支障がない
④農用地区域内の効率的かつ担い手などの農用地利用集積に支障を及ぼさない
⑤土地改良施設の有する機能に支障を及ぼす恐れがない
⑥土地改良事業などによって整備された区域外

◆必要書類

①申出書
②転用許可申請書必要書類（土地登記簿謄本、建物配置図、建物平面図など）

※住宅用地として適正な面積の手続きのため、事前に分筆が必要になる場合があります

◆受付期限

①６月29日㈮
②平成25年２月28日㈭

※申し出状況によって期限を変更する場合もあります。予定している人は、事前に産業振興課に連絡してください

◆申し出・問い合わせ先…産業振興課（☎34―２１１１　内線73）

小学生がデザイン　新しいバス停

村は、東日本大震災で流出した村内のバス停を再整備するため、昨年度、田野畑小全校児童にデザインを依頼しました。寄せられた明るく夢のある173通りのバス停。その中から村の自然や復興に向かうイメージをデザインした、６年の畑山雛花さんと向井さやかさん（デザイン時は５年）の作品を採用し、バス停を製作しました。２人のデザインしたバス停は、田野畑駅など沿岸部のバス停で、皆さんの安全な乗降を見守っています。

畑山さんとツリーイズシャイニングバス停

☆や◇は明日への光みたいな感じで、復興をイメージして描きました。私が描いた絵より、すてきなバス停になってうれしいです。

フラワーネイチャーバス停と向井さん

きれいな風景を見てみんなが笑顔になればいいなと思い描きました。バス停になってうれしいけど、いろんな人が見るからちょっと恥ずかしいな。

参加者からはさまざまな意見やアイデアが出された

番屋群再生に向け意見交換会

机浜番屋群再生プロジェクト（実行委員長・上机莞治村長）の第１回ワークショップを３月31日、山海ろばたハウスで開催しました。ワークショップには番屋の所有者や全国のサポーターなど番屋群に思いを寄せる約25人が参加。「郷土料理を提供したらどうか」「漁師の作業風景が分かるように」など、番屋群の在り方や活用方法などのアイデアが数多く出されました。これらの意見などを基に、本年度は番屋再生の構想や設計に着手する予定です。

リアス倶楽部にピアノが届く

４月18日、リアス倶楽部（畠山とし子施設長）にピアノの贈りものが届きました。３月11日に東京合唱団が開いた大震災追悼チャリティーコンサート。その参加者全員の願いがこもったアップライトピアノです。施設利用者の皆さんは、さっそくピアノ伴奏に合わせて合唱。「春が来た」「こいのぼり」「ふるさと」を楽しく歌いました。畠山施設長は「利用者からは、職員が弾いてくれたら歌いたいとの声がある。レクなどで活用していきたい」と話していました。

ピアノ伴奏で「ふるさと」を歌う施設利用者の皆さん

元気いっぱい体いっぱいで踊るたのはた児童館の園児たち

さんてつのうた体いっぱいで

若桐保育園とたのはた児童館は３月27日、三陸鉄道の田野畑－陸中野田間の運行再開イベントで踊る「さんてつのうた♪」の練習を行いました。同曲を作ったアンダーパスの２人が来村。初めは緊張気味だった園児たちも、音楽に合わせて踊ったり歌ったりすると元気いっぱいになり、体いっぱいで踊っていました。アンダーパスの２人は「４月１日の当日は、子どもたちのパワーで未来につながるような雰囲気になるはず」と共演を楽しみにしていました。

みんなに見守られ23人が入学

田野畑小学校(早川幸男校長、児童171人)の入学式が４月９日、同校体育館で行われました。在校生や保護者の温かい手拍子で迎えられた23人の新入生。緊張の中、担任に名前を呼ばれると「ハイ」と元気よく返事をして小学生の仲間入りをしました。若桐保育園の畠山厚子園長は「皆さんのことは上級生のお兄さんお姉さん、地域の人、先生、お父さんお母さんが見守っています。毎日の学校生活を元気いっぱい楽しんでください」とお祝いの言葉を送りました。

入学式を終えて初めての授業。緊張も解けて教室は笑顔でいっぱい

新入生を代表して誓いの言葉を述べる畠山玄君

真新しい制服まとい中学生に

田野畑中学校（佐々木幸彦校長、生徒120人）の入学式が４月６日、同校体育館で開催され、真新しい制服に身を包んだ31人が中学校生活をスタートさせました。佐々木校長は「学校生活が楽しくなるかどうかは自分次第。チェンジとチャレンジを大切にしよう」と式辞。新入生を代表した畠山玄君は「自分から進んで行動し、行動に責任を持ちます。出会えた31人の同級生と力を合わせ助け合い、喜びを分かち合える仲間になります」と力強く誓いました。

牛乳配り交通安全を呼び掛け

村、交通安全協会田野畑支会、交通安全母の会、岩泉警察署などは、春の全国交通安全運動期間初日の４月６日、道の駅たのはたで交通安全キャンペーンを実施しました。小雪舞う肌寒い中、集まった約32人は用意した交通安全啓発チラシ、夜光反射材、たのはた牛乳をドライバーに配りながら交通安全を呼び掛けました。お母さんと一緒に参加した若桐保育園の後藤遥ちゃん（５）＝机＝は「安全運転をお願いします」と大きな声で元気よく手渡していました。

子どもたちの元気な呼び掛けにドライバーも思わず笑顔

お知らせ

人口と世帯	4月1日現在（ ）は前月比
人口	3,852人（-11）
男	1,896人（- 4）
女	1,956人（- 7）
世帯	1,434世帯（- 3）

火　災	（3月22日～4月20日）
火災の発生件数【今月】	0件
【今年】	3件
無火災の連続記録（4月20日現在）	48日

災害関連死にも弔慰金支給

津波など震災が直接の原因となる死亡とは別に、震災後の避難所生活など環境の変化により体調を崩して死亡した場合、災害関連死として弔慰金の支給対象になる場合があります。詳しい内容などは政策推進課に相談してください。

◆事例
①津波にのまれたことで肺炎になり、悪化して死亡
②ライフラインの停止で十分な医療や介護を受けられず、衰弱して死亡
③寒さに耐えながらの避難所生活で衰弱して死亡　など
◆支給…審査会で審査して支給
◆届け出・問い合わせ先…政策推進課（☎34-2111　内線61）

岩手三陸復興音楽祭を開催

「音楽の力で未来の扉を拓こう」と題し、2組の実力派を迎えて復興音楽祭を開催します。

◆日時・場所（Pはパリャーソ、Dはドンアルマスが出演）
5月18日㈮
P 13:30～15:00　野田中学校
D 13:30～15:00　小本中学校
19日㈯
P 9:20～10:40　三鉄車内
P 11:00～12:00　普代駅前
P 12:20～13:20　三鉄車内
D 9:40～11:30　三鉄車内
D 14:00～15:00　田野畑駅
20日㈰
P D 10:00～12:00　アンバーホール
◆入場料…無料（20日のアンバーホールのみ整理券が必要）
◆問い合わせ先…県北広域振興局産業振興課（☎0194-53-4981）

村消防団大演習を開催　皆さんの参観・激励を

◆日時…5月27日㈰
　午前8時～11時45分
◆主会場…田野畑小学校
◆放水訓練…沼袋・農村環境改善センター（10時30分ころ）
◆分列行進…沼袋・田野畑交通付近（10時45分ころ）
◆問い合わせ先…消防田野畑分署（☎34-2100）

サンマッシュでパート社員募集

◆作業内容…シイタケなどの栽培、収穫、パック詰め作業など
◆募集人数…若干名
◆賃金…時給 650 円～
◆作業時間…午前8年～午後5時（時間は応相談）
◆応募期限…期限は設けず、随時受け付けています
◆応募方法…履歴書（写真付き）を提出してください（郵送可）。後日、面接の日時などをお知らせします
◆応募・問い合わせ先…㈱サンマッシュ田野畑（〒028-8407 田野畑村松前沢 54-8　☎37-3570）

就職面接会の参加企業募集

◆日時…6月20日㈬
　午後1時30分～4時
◆場所…宮古市民総合体育館（シーアリーナ）
◆内容…一般求職者との個別面談、就職相談など
◆申込期限…5月31日㈭
◆申し込み・問い合わせ先…宮古地域雇用対策協議会（宮古公共職業安定所内　☎0193-63-8609）

人間ドック受診に助成金交付

◆対象…40～74歳で人間ドックを受診した人。（全ての医療機関での受診が対象）
◆助成額…課税状況により1万～2万円（3年に1回の助成）
◆申請方法…検診結果の写しに領収書または受診証明書を添えて、保健福祉課に申請
◆その他…平成24年4月1日以降の受診分が対象
◆申請・問い合わせ先…保健福祉課（☎33-3102）

くらしのなんでも相談会を開催

仕事、お金、病気、人間関係や法律など生活の困りごとに無料でお答えします。村外の専門家が対応し、秘密は守られますので、安心してご相談ください。

◆日時…5月10日㈭、24日㈭
　午前10時～正午
◆場所…村保健センター
◆申込期限…開催日の前日（申し込まなくても相談できますが、申込者優先となります）
◆申し込み・問い合わせ先…これからのくらし相談室・宮古（☎0193-64-2400）、保健福祉課（☎33-3102）

中小企業など事業再開を支援

県と村は、東日本大震災で滅失した事業所が村内で事業を再開する場合、次のような支援を行います。

◆内容…滅失した事業用資産のうち、事業再開に不可欠な建物、付属設備、構築物、機械、装置の取得経費
補助率…補助対象経費の2分の1以内
限度額…製造業と宿泊業2000万円、それ以外300万円
◆要件
①取得費100万円以上。ただし、機械や装置で一部対象とならないものがあります
②事業再開年度から3年後の年度末までに、被災時の従業員数を回復すること
◆対象期間…平成23年3月11日以降に実施したもの。さかのぼっての適用が可能です
◆申し込み・問い合わせ先…政策推進課（☎34-2111 内線63）、村商工会（☎34-2304）

小中学生の医療費を助成中

◆助成期間…就学時から15歳に達した3月31日まで
◆対象医療機関…保健医療機関および保険薬局
◆給付方法…医療機関の窓口でいったん医療費の自己負担分を支払った後、役場に申請
◆申請方法…医療費（一部負担金）の領収書、健康保険証、金融機関の口座番号（保険者名義）、印鑑を持参。役場で所定の用紙に記入して申請
◆申請・問い合わせ先…生活環境課（☎34-2114　内線25）

行政情報を公開しています

村は、行政情報を公開しています。手続き方法など詳しい内容は問い合わせてください。

◆平成23年度の公開実施状況
・開示請求件数　5件
・開示決定等件数　4件
・異議申立件数　0件
◆問い合わせ先…総務課（☎34-2111　内線11）

野鳥観察会に参加しませんか

北山崎の自然を守る会では、日本野鳥の会宮古支部長を案内人に、北山崎自然遊歩道周辺で野鳥の観察会を開催します。

◆日時…5月19日㈯
　午前9時～正午
◆場所…北山崎駐車場に集合
◆参加料…無料
◆申込期限…5月18日㈮
◆申し込み・問い合わせ先…体験村・たのはたネットワーク（☎37-1211）

フリーマーケット出店者募集

宮古地区広域行政組合では、フリーマーケットの出店者を募集しています。

◆出店資格…宮古広域管内に住所を有する人
◆募集店舗…30店（出店は無料）
売り場面積は2.5㍍×2.5㍍
◆開催日時…5月27日㈰
午前9時～正午　※雨天中止
◆開催場所…みやこ広域リサイクルセンター内敷地
◆申込期限…5月24日㈭
◆申し込み・問い合わせ先…宮古広域リサイクルセンター（☎0193-64-7111）

防火管理者講習会を開催

再講習
◆日時…6月25日㈪
　午後1時30分～4時
◆対象…収容人数300人以上の施設の防火管理者、または選任される予定の人
◆定員…20人
◆受講料…1,470円（テキスト代）

新規講習
◆日時…6月26日㈫～27日㈬
26日㈫・午前8時40分～午後4時10分
27日㈬・午前8時50分～午後3時10分
◆対象…防火管理上、管理的または監督的な地位にある人
◆定員…100人
◆受講料…3,800円（テキスト代）

共通事項
◆場所…宮古消防本部体育館
◆受付期間…5月14日㈪～6月8日㈮
※定員になりしだい締め切り
◆申し込み・問い合わせ先…消防田野畑分署（☎34-2100）

精神科通院者の集いを開催

話し相手がほしい人、お菓子作りなどで楽しい時間を過ごしたい人など、同じような経験や思いを持った仲間と悩みや苦手を相談し合いませんか。

◆日時…5月9日㈬
　午前10時～正午
◆場所…村保健センター
◆対象…精神科に通院しながら治療を受けている人
◆申込期限…5月7日㈪
◆申し込み・問い合わせ先…宮古圏域障がい者福祉推進ネット（☎0193-64-7878）

狂犬病の予防接種を実施

愛犬を狂犬病から守ろう

本年度の狂犬病予防接種を５月23日と24日、村内各地区を巡回して実施します。都合の良い時間・場所で飼い犬に予防注射を受けさせてください。

忘れずに予防接種を

５月10日ごろ、犬を登録している人に「平成24年度狂犬病予防注射票交付者個票」を郵送します。予防接種を受けるときに必ず持参してください。なお、届かなくても飼い犬がいれば接種が必要です。

◆対象…生後91日以上の全ての犬

◆料金…注射のみ３１００円、注射と新規登録６１００円（訪問注射は１０００円加算）※釣り銭が要らないように準備をお願いします

◆新規登録…新たに登録する場合は、▼種類▼毛色▼性別▼名前▼生年月日―を接種場所で係員にお知らせください

◆訪問注射…巡回場所での接種が難しい場合は、訪問注射を利用してください。希望する人は５月18日㈮までに電話で申し込んでください

◆申し込み・問い合わせ先…生活環境課（☎34−2114　内線21）

■狂犬病予防接種の巡回日程

日　時		場　所
5月23日㈬	9:00	七　滝・地区公民館
	9:15	七　滝・鉄山口バス停付近
	9:40	猿　山・消防屯所前
	10:00	大　芦・牧原商店前
	10:20	浜岩泉・地区公民館
	10:50	真木沢・地区公民館
	11:10	切　牛・望洋館
	11:30	島　越・防災センター
	11:45	島　越・松前沢バス停付近
	13:20	羅　賀・旧平井賀駐在所付近
	13:35	羅　賀・旧羅賀児童館
	13:50	明　戸・地区公民館
	14:05	池　名・地区公民館
	14:25	机　・拓心館
	14:50	北　山・北山崎入口付近
	15:45	田野畑・地区公民館
	16:00	田野畑・四方見山公園
5月24日㈭	9:00	千　丈・地区公民館
	9:20	甲　地・三沢バス停〜日向バス停
	9:35	甲　地・細沢バス停付近
	9:50	甲　地・甲地バス停付近
	10:05	甲　地・地区公民館
	10:25	田　代・地区公民館
	10:50	沼　袋・旧フクゼン
	11:10	巣　合・地区公民館
	11:25	尾肝要・佐々木治助氏宅付近
	11:55	板　橋・地区公民館
	13:40	西和野・農協裏の広場
	14:15	和　野・民宿藤波前
	14:30	アズビィ仮設住宅団地
	14:45	高校仮設住宅団地集会所
	15:00	中学校仮設住宅団地集会所
	15:30	菅　窪・畠山正一氏宅付近

※時間は受付終了時間です。時間を過ぎたら次の場所に移動します。10分前に到着する予定ですが、多少遅れる場合もありますので了承ください

守ろう。飼い主のマナー

犬が好きな人ばかりではありません。苦手な人、嫌いな人もきっといます。あなたと愛犬の関係がうまくいき、毎日楽しく暮らしていても、誰かに迷惑をかけていたら正しい飼い方とはいえません。

①犬を放し飼いにしない

犬の放し飼いは県条例で禁止されています。夜間や早朝であっても犬を放すことはいけません。散歩に出掛けるときも、きちんと引き綱を付けてください

②道路や公園で排便させない

道路、公園、他人の土地などは犬のトイレではありません。みんなが気持ちよく利用できるように、散歩に出掛けるときは、ビニール袋などを携帯し、ふんの後始末をきちんとしてください

他人に迷惑や危害を加えないように、ルールとマナーを守り、家族の一員として責任を持って飼いましょう。

広報クイズ

問題の答えをはがきに書いて、役場政策推進課（５月21日まで）にお送りください。正解者の中から抽選で５名様にプレゼントが当たります。

Q１　三鉄に入社した本村出身の鉄道ダンシキャラは？
　A）恋し浜レン
　B）田野畑ユウ

Q２　小学生がデザインし、田野畑駅などに設置したのは？
　A）バス停
　B）待合室

Q３　５月27日に村消防団が行うのは？
　A）山火事防止パレード
　B）大演習

■前号（４月号）の正解
Q1→B、Q2→B、Q3→A

■当選者（敬称略）
鍬形タヨ（田野畑）、上山明美（田野畑）、熊谷タマ（花巻市）、中村志会之助（埼玉県）、里見恵美子（神奈川県）

おめでた　おくやみ

〔平成24年３月届け出分〕
（一部敬称略）

●生まれた赤ちゃん

砂森　詩乃（しの）ちゃん　博幸・円　真木沢
渡部　沙羅（さら）ちゃん　泰成・悠子　真木沢
佐藤　新菜（にいな）ちゃん　正教・美紀子　西和野

♥ご結婚おめでとう

山根　雄斗　羅　賀
阿部　美里　岩泉町　♥羅　賀

■ご冥福をお祈りいたします

廣　内　喜　平（80）羅　賀
根木地　ス　エ（85）池　名
佐々木　昇　（95）菅　窪
佐々木　タマエ（91）切　牛
工　藤　留　治（93）和　野

※この欄に掲載してほしくない人は、届け出のとき、戸籍係の窓口に申し出てください

「田野畑むらづくり基金」への寄付状況

2114万2,449円（４月20日現在）

378件（村内91件、県内120件、県外167件）

「田野畑むらづくり基金」の申し込み・問い合わせは、村ホームページをご覧いただくか、総務課（☎34-2111　内線15）までご連絡ください。

役立ちカレンダー

期間：５月１日㈫〜６月３日㈰

月　日	行　事	場　所	時間	問い合わせ先
５月１日㈫	固定資産税１期、軽自動車税納期限			税務課（内線31・32）
14日㈪	定期健康相談	保健センター	10:00〜11:30	保健福祉課（☎33-3102）
16日㈬	乳児健診	健診センター	13:00〜15:30	保健福祉課（☎33-3102）
20日㈰	田野畑中体育祭	中学校グラウンド	9:00〜14:30	田野畑中（☎34-2301）
23日㈬ 24日㈭	巡回狂犬病予防接種	詳しい巡回日程は本紙14ページを確認してください		生活環境課（内線21）
27日㈰	村消防団大演習	田野畑小学校他	8:00〜11:45	消防田野畑分署（☎34-2100）
28日㈪	定期健康相談	保健センター	10:00〜11:30	保健福祉課（☎33-3102）
６月３日㈰	田野畑小運動会	小学校グラウンド	9:00〜14:55	田野畑小（☎34-2050）

役場☎34-2111／教育委員会☎34-2226／医科診療所☎33-3101／歯科診療所☎33-3100／保健福祉課☎33-3102

はまなす号巡回カレンダー

期間：５月23日㈬〜24日㈭

はまなす掲示板

◆はまぎくコース（机・北山方面）

月　日	場　所	時　間
５月23日㈬	グループホームつくえ付近	9:40〜10:00
	北山地区総合センター	10:10〜10:25

◆たんぽぽコース（真木沢・切牛方面）

月　日	場　所	時　間
５月23日㈬	佐藤進氏宅付近	11:05〜11:20
	望洋館	11:30〜11:45

◆おきなぐさコース（沼袋・甲地方面）

月　日	場　所	時　間
５月24日㈭	産直プラザ尾肝要	9:45〜10:00
	山栄会リアス倶楽部付近	10:10〜10:40
	甲地公民館	10:50〜11:05

◆問い合わせ先…教育委員会（☎34-2226）

平成24年度当初予算を可決
一般会計予算125億2400万円
前年度当初予算の3・8倍に

平成24年度予算などを審議する第３回村議会定例会を３月９日から16日まで行い、23年度一般会計補正予算を含む21議案を可決しました。24年度当初予算など関連議案は、予算特別委員会（委員長・佐々木功夫議員、副委員長・中村勝明議員）に付託して審議。一般質問には、中村勝明議員、菊地大議員、宮森鋭幸議員の３人が登壇し、当面する村政の問題について質問しました。

※村議会だよりは広報編集委員会（委員長・工藤求議員）で編集したものです

佐々木 功夫 委員長

中村 勝明 副委員長

議決した主な議案等

●村課設置条例の一部を改正する条例
・復興を促進するため復興対策課を新設。

●村長及び副村長の給与等の減額に関する条例
・平成24年４月１日から25年３月31日までの間、村長は３万３千円、副村長は２万２千円を減じた額とすること。

●村漁港管理条例の一部を改正する等の条例
・東日本大震災の津波により全壊流出した施設を廃止するための所要の改正（漁港環境整備施設の炊事棟他６施設）。

●村介護保険条例の一部を改正する条例
・第５期介護保険事業計画策定に伴い、平成24年度から26年度までの介護保険料を設定するための所要の改正。

●東日本大震災に伴う村介護保険料の減免に関する条例の一部を改正する条例
・東日本大震災の被災者に対する介護保険料の負担軽減を図るための所要の改正。

●村堆肥処理施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて
・指定管理者に㈳田野畑村産業開発公社を指定しようとするもの。

●村製氷貯氷施設の指定管理者の指定に関し議決を求めることについて
・指定管理者に田野畑村漁業協同組合を指定しようとするもの。

●村高齢者グループホーム並びに村デイサービスセンター及び訪問介護ステーションの指定管理者の指定に関し議決を求めることについて
・指定管理者に社会福祉法人寿生会を指定しようとするもの。

●副村長の選任に関し同意を求めることについて
・工藤正勝副村長が平成24年３月31日をもって任期満了となることから引き続き選任することに同意した。

●人権擁護委員候補者の推薦に関し意見を求めることについて
・藤島秋男委員が平成24年６月30日をもって任期満了となることから、後任に畠山とし子氏(61)＝菅窪＝を推薦することに同意した。

●平成23年度村一般会計補正予算（第14号）
・２億３４９１万９千円を減額し、総額を１２６億５４９６万１千円とするもの。

●平成23年度村国民健康保険特別会計補正予算（第４号）
・事業勘定　７２１万５千円を減額し、総額を６億８万３千円とするもの。
・直診勘定　39万９千円を追加し、総額を１億５３８２万６千円とするもの。

●平成23年度村簡易水道特別会計補正予算（第９号）
・１０６９万１千円を減額し、総額を２億１３７４万円とするもの。

●平成23年度村集落排水特別会計補正予算（第５号）
・２３７３万３千円を減額し、総額を３億１４２万１千円とするもの。

●平成23年度村介護保険特別会計補正予算（第５号）
・保険事業勘定　１４１４万９千円を減額し、総額を４億８８２４万４千円とするもの。
・介護サービス事業勘定　２１１万９千円を減額し、総額を１５３万５千円とするもの。

●平成23年度村後期高齢者医療特別会計補正予算（第１号）
・２２７万５千円を減額し、総額を２７１７万３千円とするもの。

一般質問

中村 勝明 議員

〈質問〉　仮設住宅で、風呂に追い炊きを設置してほしいという要求が結構多い。設置責任は県にあると思うが、村として県に強く要望すべきと考えるがいかがか。

〈村長〉　どこの町村からも要望があり、それぞれ国に要望しておりますが、本県の場合も町村会あるいは市長会などを通じて国にも要望しているところです。国では多額の経費がかかるということでいい回答はいただけないのが現状であり、今後とも関係機関と共に要望してまいりたい。

〈質問〉　特別養護老人ホームへの待機者は県の調査では県全体で６１８３人にのぼっておりました。そのうち早期入所が必要な人が１２５３人で村の待機者などをどのように把握しているか伺いたい。

〈村長〉　県が行った特別養護老人ホーム入所待機者実態調査の結果によりますと、本村は23人となっております。入所待機者の生活場所といたしましては、在宅が11人、老人保健施設が３人、グループホームが４人、病院等の入院が２人、その他３人という内容です。

〈質問〉　村の漁業協同組合の昨年の決算を見ますと、欠損額が３億８３４７万円余りと増大し、債務超過も２億２９９９万円となっていました。事業計画書に組合運営の抜本的な見直し経営基盤の安定を図るとあり、村としてはどのように把握しているか伺いたい。

〈村長〉　東日本大震災により市場あるいは漁協の施設などがすべて流失したわけで、大きな損失を被っております。平成23年度の漁協の総会資料によると、津波の災害損失が３億７００万円余りとなっており、経営上大変な状況なわけで累積については２億３００万円ぐらいの債務超過と厳しい状況が続いております。復興に向けて役職員一体となり懸命の努力をしております。今後においてもいろんな角度から漁協と協調しながら経営の安定には支援をしてまいりたいと考えています。

菊地 大 議員

〈質問〉　復興基本計画に基づき着々と動き出し、その復興基本計画の工程から24年度初め、来月からは全行程が動き出すようであります。現在どのような状況なのか、順調に進んでいるのか、防災の地域づくり、生活の再建、地域振興の各項目について伺いたい。

〈村長〉　復興基本計画による復興の進捗状況は、二度と津波で人命を失わないということが基本であり、高台移転を実施するようにしている。地権者からも了解をいただいており、４月以降に造成などの実施に入りたいと考えている。公営住宅なども建築場所は決定しており、新年度造成が完了次第、公営住宅の建築には移ってまいりたい。なお、新年度におきましては、実施していないサケのふ化場なども実施をしてまいりたい。

〈質問〉　ホテル羅賀荘の安全体制を整備することは責務だと感じる。その中で安全対策、避難対策、避難設備はどのように行っていくのか伺いたい。

〈村長〉　安全には十分配慮していかなければならないと考えています。現在は３階までは一応被災したわけであり、３階までの宿泊は行わないことで、４階以上に宿泊場所を移動するように考えています。建物そのものにつきましては、特に構造上は問題がございませんので、今設計に入っております。今後避難などを行う場合どのよう

な方法が一番いいか設計で反映してまいりたいと考えています。

11月の再開目指す羅賀荘

〈質問〉 サンマッシュ田野畑の経営状況が新聞に報道され、被災の影響もあり、非常に厳しい局面かとは感じますが、環境を含めて今後の方向性を伺いたい。

〈村長〉 先般新聞で報道されたのは22年決算の内容と思っています。サンマッシュ田野畑は、21年に設備をし実質は22年の3月から経営を始めました。その設備投資などの問題もあり大幅な債務超過というようなことになっておりますが、23年は3月11日の震災で停電が続いたこともあり、菌床の製造ができなかったという面もございます。一応当初の経営の中では5年目以降からは赤字を解消するというような、当初からの経営でございますので、それに沿って早期に黒字に転換するように考えています。心配なのは、今原発の風評被害この問題が出始めておりますので、これが非常に心配の種でもございます。

宮森 鋭幸 議員

〈質問〉 羅賀、島越地区の宅地造成、敷地造成の着工時期はいつ頃になるのか伺いたい。

〈村長〉 敷地の造成は、24年度の早い時期から順次進めてまいりたいと考えています。これまでも被災者の方々には説明申し上げておりますが、今月中にも説明をしていきますし、今後も何回でも具体的なものが詰まった段階で相談を申し上げていきたいと考えています。

〈質問〉 人口の減少とともに少子高齢化が進み、若者のいないところは一抹の寂しさを感じます。今日まで行政はこの対策をどのように取り組み、今後若者の定住対策をどのように推進していこうとしているのか伺いたい。

〈村長〉 地域での行政は定住対策、過疎対策が中心ですべての行政を賄っていると言っても過言ではないと思っています。これまでも第1次産業を含めた就業機会の確保や雇用対策、あるいは担い手対策なども行ってきたわけであります。何よりも若い人たちのため住みよい地域をつくっていかなければならないことから、福祉対策および保育料や中学校までの医療費の無料化など、子育て環境に優しい施策を講じてきたわけです。今後ともこれを更に進めてまいりたいと考えております。

〈質問〉 教育立村を掲げた村、昭和49年1村1校に統合された中学校寄宿舎、当時全寮制ということで全国から注目の的となった。あの日から数えて若桐寮も約40年の歳月が流れ去ろうとしている。この施設を今後どのように利活用していこうとしているか伺いたい。

〈教育長〉 長い間本村の中学校教育の一翼を担ってきた大変貴重な建物です。平成21年8月に設置条例を改正して、これは寄宿舎ということではなくなりました。休寮状態ではなく、今は廃止という形になっていて、電気、水道、ガスなどライフラインは全部遮断されています。例えば震災後の仮設避難場所として活用できないか、あるいは、早稲田大学の思惟の森の会の宿泊場所、青鹿寮が非常に老朽化しておりますので、活用できないかなど話がございましたが、実現できておりません。改修工事に相当のお金が見込まれ、今後いろんな補助制度があろうかと思いますので、有利な助成がいただけないかものかというようなことも含めて今後の活用のあり方について検討してまいりたいと考えております。

討論

予算特別委員会で審議した24年度予算について反対の立場から中村勝明議員と宮森鋭幸議員、賛成の立場から佐々木芳利議員と佐々木功夫議員の討論がありました。

〈反対〉 中村勝明議員

24年度一般会計予算および後期高齢者医療特別会計予算の2議案について3点を指摘して反対する。

第1点目は職員体制です。24年度の総職員数は70人。そして、社会保険加入の臨時職員は新年度当初で29人。そして、派遣職員5人の体制で各特別会計総額146億円という膨大な総予算をこなさなくてはなりません。事実上の「復興元年」であり、国県の強力なバックアップを引き出し、地域住民、村内各種団体の総力を挙げて村を前進させるための職員体制の充実が重要である。

第2点は、村出資の第三セクター2社です。

・株式会社陸中たのはた。新年度当初予算の村観光振興企業経営支援補助金のうち一つは長期債務償還費補助分として4200万円。運営費補助分として過疎債を活用して4500万円、計8700万円を計上している。これは本年1月24日の臨時議会で賛成5、反対3でホテル羅賀荘の大規模改修が議決され、それを営業再開させるための予算措置であり、到底賛成できるものではない。

村が85・2パーセントの出資割合をもつ第3セクター「陸中たのはた」。出資割合で経営責任を持っている訳であり、しかも羅賀荘の土地建物はすべて村有であり巨大津波で被災した建物の大修繕など、村民からアンケートを聴取するとか、地域懇談会を開催するのが、私は民主主義の大原則だと議会議決をした今でも強調しておきたい。

・第3セクターのサンマッシュ田野畑。先月新聞報道の県内第3セクターの決算状況は、平成22年度の決算の公表です。営業開始直後だけに、容易でないことは理解しているが、負債が資産を上回る債務超過6795万円は深刻であり、「原発など震災も影響しているものとみられ」とのこと、いずれ何らかの手立てが必要ではないか。

第3点目は後期高齢者医療制度です。平成20年4月施行のこの制度は、障害者自立支援法に共通し、この理論の背景にあるのが自己責任論であり中味、内容は、応益負担であります。この制度の変更を望んでいることを指摘して反対討論とします。

〈反対〉 宮森鋭幸議員

ホテル羅賀荘は本村にとってなくてはならない施設でありますことは申し上げるまでもありません。再建にあたっては、何よりもまず人命の安全・安心を確保しなければなりません。そのためには現有施設が存在しているこの地域は津波の浸水想定地域内にあり、危険でもあり高台移転をお勧めした経緯がございます。

また、現有施設で再開したとしても震災の事を考えます時に利用宿泊客の激減が予想され経営に影を落とすことが懸念されるものであります。赤字が雪だるま式に膨れ上がり村民の税金をまた次から次へと会社に投入するようになりますと村財政に黄色い信号が点灯しなければ良いがと思うのであります。村民が納得するでしょうか。子や孫の代まで負の遺産を残してはならないのであります。

以上のようなことから私の対案でございますが村長が強調しております対話の村政を考えてみますときに、地域懇談会を開催し、多くの村民の声によく耳を傾け現有施設での再開の可否を直接聞いてみる必要があると思います。急がずにじっくりと腰を据え将来展望を見つめながら村民の声を尊重して高台移転を模索して見るのも一つの方途ではないかと思います。この事をお勧めすると同時に一般会計のホテル羅賀荘に関する部分についてのみ反対し討論とします。

〈賛成〉

佐々木 芳利 議員

一般会計、特別会計の予算関連7議案条例改正等8議案合わせて15議案の審査を行いました。一般会計における当初予算は、125億2400万円であります。歳出の主なものは災害廃棄物処理29億3千万円、漁港建設23億8千万円、住宅建設29億7千万円、雇用創出事業1億4千万円などであり震災の復旧復興関連の予算が約8割であります。いま最も望まれていることは住宅再建、漁業の復旧復興、雇用創出、就労対策と思います。新年度予算の早期執行早期事業着手が前進の第一歩となることと確信し賛成討論とします。

〈賛成〉 佐々木功夫議員

中村議員が指摘している職員数の問題は、昨年3月11日の震災により災害などの復旧復興のために急遽職員を盛岡市、紫波町からの応援を得て復旧復興にあたっていただきました。また、新年度一般会計予算125億2400万円の予算を組み入れるために、その場の立場の職員が県、国にお願いしての予算を組む努力があったと思います。

宮森議員が指摘している羅賀荘問題についてでありますが、一言にいわせれば復興予算という位置づけでもいいのではないか、これに反対したと私は理解せざるを得ないわけです。

中村議員の指摘している農用地整備に係る10パーセントの自己負担の件があったわけですがこれは事業も終わっているわけですが、いまさら他町村での引き合いでやることは決して好ましくないことだと思っています。

新年度は8割近い予算が復旧復興のための予算に盛り込まれているものと考えます。何よりも復旧復興を最大限に、1日も早く成し遂げられることが何よりであり、新年度予算は復旧復興の予算だということを位置づけて賛成討論とします。

わが家のアイドル

145

早野　天真（てんま）くん（1歳7カ月）

父・敬二さん、母・芽衣さん＝島越＝

お母さんからのひとこと

ヨーグルトとモヤシが大好き。ひょうきんで甘えん坊な子です。いつもブロックやボールで遊んでいます。健康で思いやりのある子に育ってね。

大森　心太（しんた）くん（1歳4カ月）

父・泉さん、母・美紀さん＝西和野＝

お母さんからのひとこと

果物や魚が大好き。何でもよく食べ、元気いっぱいの子です。知らない人の前ではお利口さんだけど…。思いやりのある強くてたくましい子に育ってね。

■編集こぼれ話

4月1日に田野畑－陸中野田間の運行を再開した三陸鉄道。私は7日、小学生の娘2人と田野畑－久慈間を往復し、三鉄の旅を楽しみました。久慈からの車内は立ち乗り客も出るほどの混雑。「4月1日に運転を再開しました。皆さんのご支援に感謝します」と運転士がアナウンス。乗車していた男の子が「早く全部つながればいいね」と母親に話す姿を見て、みんなが三鉄を応援しているんだなと感じました▼4月号の広報クイズ、少し難しかったですかね？実は全問正解者が1人もいませんでした。でも、せっかく皆さんから届いたはがきなので抽選させていただきました。プレゼントが届くまでもう少しお待ちくださいね▼これからの季節、山菜採りなどで山に入る機会が多くなると思います。たばこのポイ捨てなどは絶対にやめ、山火事を起こさないようにしましょう。ラジオや鈴を携帯するなど、クマに遭遇しないための準備もお忘れなく。

（政策推進課　佐々木和也）

■発行　田野畑村　■編集　政策推進課
〒028-8407　岩手県下閉伊郡田野畑村田野畑143-1
TEL 0194-34-2111　FAX 0194-34-2632　■印刷　川口印刷工業㈱
URL http://www.vill.tanohata.iwate.jp/